

会員各位

2016 年 10 月 吉日

シグマベイスキャピタル 個人投資家向けセミナーのご案内

平素よりお世話になっております。2016 年 10 月 29 日（土）、テクニカルアナリスト協会の企画協力のもと、シグマベイスキャピタルの個人投資家向けセミナー「シグマ個人投資家スクール」で当協会の会員である新見 明弘氏（日本テクニカルアナリスト協会 理事、国際テクニカルアナリスト協会（IFTA）理事）、中村 貴司氏（日本テクニカルアナリスト協会 評議員 研究 I 部長）がテクニカル分析を使ったトレンドフォロー戦略についてのセミナーを行う予定です。

本講座の特徴は、「初めての方からプロの手法を学びたい方」までを対象に PC を活用した実践的な講座となっており、主に個人投資家の実務知識習得の場として活用されています。

記

テーマ：『実践！テクニカルを使ったトレンドフォロー戦略』

日時：2016 年 10 月 29 日（土曜日）

講義時間：13：00～16：00

場所：シグマベイスキャピタル 教室（東京都中央区日本橋茅場町）

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 継続教育単位認定講座

世界の運用業界ではヘッジファンドの一つで株価指数や債券、通貨などの先物に分散投資する CTA（商品投資顧問）の存在感が高まっています。例えば、世界の株式、債券、通貨の先物などで流動性の高い市場を選び、コンピューターが過去の値動きを分析し、相場動向に応じて先物の売買を機械的に行う仕組みとなっています。

CTA は相場が混乱した時でも安定した運用成績をあげることで定評があります。世界の金融市場の先行きが不透明な中、運用先の分散を図りたい投資家に人気があります。足元では年金基金の資金流入などが牽引し、CTA の世界の資産残高は 33 兆円程度と過去最高水準となっています。

このように市場への影響力を強めている CTA などヘッジファンドが採用している投資戦略の一つとしてトレンドフォロー戦略があります（順張り戦略とも言われます）。今回の講座では、テクニカルアナリスト協会の企画協力のもと、テクニカルを使ったトレンドフォロー戦略を中心に PC データなどを活用することで、個人投資家でも実践で使えるよう、わかりやすく解説します。

### <プログラム概要>

ヘッジファンドや AI（人工知能）運用が、日本株式市場に与える影響が徐々に高まってきています。そうした中、ヘッジファンドなどが活用しているテクニカルを用いたトレンドフォロー戦略の一部を紹介し、PC を使って一緒にワークしていきます。

今や投資に PC は欠かせません。PC、エクセルを用い、そのエッセンスをわかりやすく解説いたします。本セミナーで分析に用いるエクセルファイルは、お持ち帰りいただけます。

#### 1.ファンダメンタルズ分析とテクニカル分析の位置づけは？

（行動ファイナンス理論も踏まえて）

ヘッジファンドが活用するそれぞれのメリット・デメリットの比較

#### 2.ヘッジファンドの運用戦略の紹介

ヘッジファンドは実際のマーケットでどのように運用しているのか？

#### 3.ヘッジファンド・AI（人工知能）による、テクニカル分析を活用したトレンドフォロー戦略のノウハウの一部を PC で解説

### 参加者特典

テクニカルを活用したトレンドフォロー戦略のためのエクセルシート

受講料 16,200 円（税込）

本講座では、テクニカルアナリスト協会の協力のもと、2名の講師がヘッジファンドなどで活用されることも多いトレンドフォロー戦略を切り口としつつ、テクニカルアナリストとしての分析手法や市場の見方なども複合的にご紹介する予定です。会員の皆様のテクニカル分析力の向上にぜひお役立てください。

参加ご希望の方は以下からお申込みいただきますようよろしくお願い申し上げます。

講座内容 <http://www.sigmabase.co.jp/individual/seminar/strategy/20161029.html>

申込み <https://www.sigmabase.co.jp/checkout/57d79bbc-9db0-4755-b1f8-756b99792868>

以上